

アル・アクサ洪水第496日目：ネタニヤフ首相の妨害にもかかわらず、ガザ停戦再開へ | アラブ人が結集

Palestine Chronicle1、2025年2月13日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



アル・ファラ難民キャンプでの大規模な破壊。(Photo: via QNN)

主要事項

*AFP が伝えたパレスチナ側の情報によれば、15日にイスラエル人質の解放が行われる気配なので、停戦破断危機は回避できそうだ。

*イスラエルは西岸地区の軍事行動をエスカレートしている。今日もジェニン東部地区で自動車へドローン攻撃を行った。

最新情報

2月14日 6:22am (パレスチナ時間)

*アル・ジャジーラ：2月13日に米国は国際刑事裁判所の検察官カリム・カーンに対して制裁を課した。トランプ大統領がその旨の大統領令に署名してから1週間後である。これは、国際刑事裁判所がガザの戦争犯罪の罪でイスラエル首相のネタニヤフと国防大臣ヨアブ・ガラントに逮捕状を出したことに対する罰として、2月6日にトランプ大統領が発令した大統領令に従って施行したと、米財務省が発表した。

*パレスチナ・メディア：イスラエルのクワッドコプター無人機がガザ各地の上空を飛び回って、住民に威嚇的なテープ・メッセージを流している。目撃者によれば、無人機は子どもの泣き声、女性の悲鳴、犬の吠え声を流し、続いて住民に15日までにイスラエル人質を解放しなければこうなるというメッセージを流し、レジスタンスに怒りを向けて、レジスタンスに圧力をかけよと呼びかけた。

*イスラエル・メディア：イスラエル紙マアリブは元国家安全保障会議議長のジオラ・アイランド将軍の「ガザ戦争でイスラエルは惨めにも敗北した」という発言を報道した。ガザ北部の民族浄化計画¹を主張するアイランド将軍は、ガザ戦争の成果は、どちら側が目標に達し、どちら側が相手に意向を押し付けたかの判定で判断すべきだ、ガザ停戦合意の内容、ラファ検問所の封鎖解除、ネツァリム回廊からの撤退、大量のガザ住民の北部への帰還などを見ると、ハマスの勝利を物語っている、と述べた。

2月14日 3:34am

*米国メディア；米国の350人のユダヤ教徒ラビがトランプ大統領のパレスチナ人ガザからの移転計画に反対する声明を出し、ニューヨークタイムズに載せた。

2月14日 1:19am

*パレスチナ・メディア：ナブルスのアスカール難民キャンプ近くでレジスタンス戦士が手製爆弾でイスラエル軍用車両を攻撃した。アル・アクサ殉教者旅団はアスカール難民キャンプ内で機関銃と爆弾を使ってイスラエル占領軍と交戦したと発表した。

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍はナブルスとジェリコを襲撃し、住民を家宅搜索し逮捕した。さらに占領軍はナブルス東のアスカール難民キャンプとラマッラー北のジャラゾーン難民キャンプを攻撃した。

*アル・ジャジーラ：地元情報筋によると、イスラエル軍の無人機が西岸地区のジェニン難民キャンプの住宅に数発の爆弾を落とす。

2月13日 10:14pm

*ネタニヤフ首相府：首相府は、イスラエル軍の南部方面軍と15日の人質引き渡しを受け入れるべきか、それとも戦争に戻るべきかを協議している。首相府は捕虜交換に関して現在ハマスの同意はないが、公的にどうするかを発表する準備をしていると述べた。

*レバノン国民議会議長ナビハ・ベリ：米国はイスラエル軍が2月18日には撤退するが、5か所の駐留を続けると私に告げた。

*ハマスの幹部ターヘル・アル・ノモ：我々は第二段階に関する話し合いを早急に始めることを強く求める。仲介国の役割は合意への妨害を除去することだ。人道的支援面の問題も捕虜交換と停戦問題に繋がっている。我々は停戦条件を守っており、イスラエル側もそれを守ることを求める。第二段階の交渉が遅延しているのはイスラエル側の責任である。第二段階に関する話し合いは始まっておらず、我々はすぐに始める必要を強調する。エジプト政府は合意の全面的な実施の有無を監視する委員会を持っている。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍はガザ中部のアル・ブレイジ難民キャンプの北東部を空爆した。

2月13日 5:59pm

*アル・ジャジーラ：わが社特派員によれば、アル・ブレイジ難民キャンプの北部でイスラエル軍の銃撃でパレスチナ人1人が死亡した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍は、西岸地区への軍事行動開始後初めてトゥルカレム市中心部への攻撃を行った。

*ジェニン難民キャンプ報道関係委員会：イスラエル軍の24時間にわたるジェニン軍事行動で、25人のパレスチナ人が死亡し、20,000人が強制退去させられた。ジェニン市とジェニン難民キャンプでは水と電気がストップし、日常必需品の欠乏のために人道的破局に陥っている。イスラエル占領軍は4つの主要病院への配水を妨害し、ジェニン市人口の35%を追い出した。

2月13日 4:02pm

*アブドル・マリク・アル・フーシ（フーシ派指導者）：もし米国とイスラエルがガザ・パレスチナ人の強制移住をやれば、我々はミサイルと海事作戦で対応するだろう。

¹ イスラエル軍がガザ北部の民間人全員に1週間以内に避難するよう求め、残った民間人を戦闘員と見做して軍の殺害の標的とする。また、ガザ北部への食料、水、燃料、医薬品の流入を阻止して兵糧攻めを行うというもの。この計画は、ハマスの残存民間人を壊滅、残っているイスラエル人等の人質の解放、そしてイスラエル軍による無期限の占領を目指している。

*パレスチナ情報筋：ヨルダン川西岸のトゥルカームにあるヌール・シャムス難民キャンプで大規模な爆発があった。

*ガザ保健省（アル・ジャジーラの取材）：過去12日間で452人の患者と付き添い620人がガザを出た。

*シン・ベト長官ローネン・バル：イスラエル軍はガザの人質の解放に向けての活動と並行して「様々な状況の展開に対応する」用意がある。

2月13日 1:41 pm

*イスラエル戦略問題大臣（ブルームバーグ報道）：我が軍はしばらく南レバノンの拠点から撤退することはない。

*イスラエル軍ラジオ放送：簡易組み立て住宅と重機類が早急にガザに入ることを許可する同意に達した。

*アル・ジャジーラ：今日簡易移動住宅と重機のガザへの搬入が始まった。それらを積んだ大型トラックの列がラファ検問所のエジプト側で待機している写真を見た。

*チャンネル12：ハマスが合意に従って人質を解放するという約束実行を受けた以上、イスラエルも約束通り行動せざるを得ないと、政府関係の高官が言った。

*エジプト外務省：エジプト外務大臣バドル・アブデル・アティが最近のガザ事情についてバーレーン外務大臣アブドウラティフ・ある・ザヤニと協議した。

*イスラエル軍ラジオ放送：今日ネタニヤフ首相は南部方面軍本部で安全保障会議を開き、ガザ合意に関して協議する。

*ラファ市役所：ラファ市の市長はラファ市は停戦合意の外側に置かれており、イスラエル軍が相変わらずガザ南部の「安全地帯」とされた地区を攻撃していると言った。

2月13日 10:30 am

*ハマス：我々はガザ停戦の崩壊を望んでいない。我々は合意を完全に実行するので、イスラエルも合意を守ることを要求する。

*アル・ジャジーラ：ガザ中部のネツァリム回廊では、破壊された道路状況にも関わらず、住民や車両の往来が盛んな映像がネットに流れている。

*AFP電：ドーハ交渉に精通したパレスチナ人2人の発言によれば、15日に予定されていた捕虜交換は予定どおり行われる見通しである。

*Wafa²：西岸地区ジェニン市の東部で通行中のパレスチナ人車両をイスラエル軍がドローン攻撃した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍はハーン・ユースの南東のアル・ファッハリの防護壁付近で爆発物処理作戦を行った。

*イタマール・ベン・グヴィル：ネタニヤフはトランプの計画どおり実行すれば、彼が公約した勝利を成し遂げることができる。ネタニヤフが戦争を続行するならば、私は内閣に復帰する。ネタニヤフは燃料や救援物資のガザ搬入を止めるべきだ。

*イスラエル・メディア：人質の家族会は捕虜交換の完全実施を要求して、テルアビブのアヤロンハイウェイを封鎖した。

*アヴィグドール・リーベルマン：15日の捕虜交換が予定どおり行われたら、すぐに第二段階交渉を始めて、人質全員を一挙に解放するようにするべきだ。

² パレスチナニュース情報局。パレスチナ自治政府（PA）が運営する通信社。